

「 「 「 「 _____

「 「 ☆特集記事 I

.....

◆◆◆ナショナルサイクルルート「トカプチ400」について◆◆◆

(国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 道路計画課)

北海道帯広市を起終点とし北十勝と南十勝を 8 の字で結んだ地域の骨格となるサイクルルートである「トカプチ400」(全長403km)が、2021年5月に第2次ナショナルサイクルルートとして指定されました。

ナショナルサイクルルート指定に至るまでの取り組みと、今後の展望について紹介します。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆道路占用Q&A

.....

◆◆◆自動運行補助施設の道路占用の取扱いについて◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

自動運行補助施設の道路占用の取扱いについて解説する。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆TOPICS ○○○。.. ○○○。

.....

◆◆◆焼津市高齢者等自転車利用の交通事故対策社会実験について◆◆◆

(焼津市 建設部 道路課)

焼津市では、これまでも安全な道路交通環境の創出に向けた取り組みを実施してきましたが、平成30年度に発生した交通死亡事故10件のうち、5件が高齢者の自転車乗車中の事故であり、高齢者の自転車乗車中の交通事故対策が喫緊の課題となっています。事故要因の1つとして、一時不停止や左右不確認等が考えられることから、無信号交差点に、自転車用の交差点ランプを設置する社会実験を実施しました。本稿では、当該社会実験の概要についてご報告します。



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取組み事例



★北近畿豊岡自動車道 日高豊岡南道路の開通とその効果について★°・*∴。

(国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所)

北近畿豊岡自動車道のうち平成 18 年度に事業化した日高豊岡南道路（但馬空港 IC～日高神鍋高原 IC：延長 6.1 km）が、令和 2 年 11 月 1 日に暫定 2 車線で開通しました。日高豊岡南道路は、災害時等の交通の確保、第 3 次医療機関へのアクセス向上及び観光振興への支援等を目的としており、本稿では、整備概要及び開通による整備効果等についてご報告します。



★三重県における AI カメラを活用した道路交通モニタリング★°・*∴。

～新型コロナ対策への交通データの活用～

(三重県 県土整備部 道路企画課)

三重県では、地域の方々日々利用する県管理道路において利用状況を把握し、それを交通量の増減として公表することで、コロナ禍における行動の参考にしていただくことを目的として、令和 3 年 3 月より AI カメラを活用した道路交通モニタリングを行っている。本稿では、AI カメラによる交通量計測の仕組みや計測データの集約・公表などについて紹介する。



★津市における改良すべき踏切道の対策について★°・*∴。

～大谷踏切拡幅事業～

(三重県 津市 建設整備課)

津駅の北に位置する大谷踏切道は、狭小な幅員にも関わらず多くの車両や、自転車及び歩行者が通行し非常に危険な状態であったことから、踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」に指定されました。本稿では、踏切道の拡幅と併せ踏切道前後の道路改良と隣接する鉄道架道橋の改築を行い、安心安全な道路空間を確保する取組を紹介します。



☆☆ ☆編集後記



出口が見えないコロナ禍。健康な身体でいたいと強く思うようになりました。

昨年の今頃は、外出すること自体が恐ろしく、健康診断の受診を悩みましたが、例年より検査項目を少なくして受診しました。検査項目が少なかったためか、外食機会が減ったからなのか、ジョギングが功を奏したのかはわかりませんが、数年ぶりにとても良好な診断結果となりました。

近ごろ、ワクチン接種に関する話題を耳にする機会も多く、自身においてもワクチン接種の予約方法、予約開始時期などを確認するため、住民票所在地の地方公共団体のホームページをよく閲覧するようになりました。「新型コロナウイルスに関する情報」は、トップページに大きな文字でリンクが張られており、ワクチン接種に関する情報、現在の感染状況や対応方針、各種支援・給付金に関する事など、たくさんの情報が掲載されていました。特に、首長の動画メッセージの「命や生活を守る」との言葉は、心強く安心感へつながるものでした。

健康に関する他の取組みについても見てみたところ、健康診断、がん検診、歯科検診の補助制度があることを知りました。年齢などの一定の条件はあるものの、無料で受診ができる制度もあり、知らなかった自分が情けないです。該当年齢の健診がひとつあったので、申込を試みようと思います（注意：健診によっては、勤務先での制度が充実している場合には、利用を控えるよう呼びかけられているものもあったので、利用の際はよくご確認ください）。また、健康寿命（健康で不自由なく暮らせる期間）を延ばすべく、独自の健康体操が考案されていました。3分程度の体操で、ちょうどいい運動量でしたが、高齢者の多さを考えて、ゆっくり編の用意があるのが素晴らしいと思いました。一方で、これまでこの健康体操をしている場面に居合わせたことがなく、存在自体を知らずに過ごしてまいりました。自身のように、さまざまな制度や取組みに気づいていない方がたくさんいるのではないかと心配であり、広報の難しさを感じました。

このような状況とならなければ、関心を寄せることはなかったことなど、コロナ禍だからこそ、いろいろな気づきがあります。しばらくはこの状況から脱せなさそうなので、アフターコロナで活かせるよう、気づきを増やしていきたいです。(U)